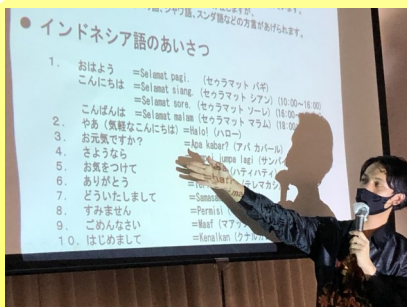


# こんにちはは81号

2021.1.8



国際理解講座 知ることから始めよう!

## ワンダフル インドネシア

鶴見区社会福祉協議会区域連携推進事業補助金事業

日時: 2020年10月11日(日) 13:30~15:30

場所: 鶴見区福祉保健活動拠点 多目的研修室ABC

参加者: 30名(日本人25名、外国人5名)

読解Bクラスのインドネシア出身

デニ プラダナさんに自国紹介をお願いしました。デニさんはインドネシアからの技能実習生で、綾瀬市から1時間半かけて日本語教室に通っています。

当初は7月12日(日)の予定でしたが、コロナ禍で延期、10月開催となりました。直前に台風14号接近の不安もありましたが、当日は天気に恵まれ、参加者にはマスク着用・手指消毒・検温など感染対策をお願いして、無事開催できました。

バティックの布とインドネシア観光省から取り寄せたパンフレットを展示し、休憩時には観光案内のDVDを流しました。デニさんはバティックのシャツで登壇し、インドネシアの多様な民族・言語・料理・観光地など、日本語で紹介してくれました。参加者からの質問も多く、発表者との会話が弾みました。「バリ島はよく行くが知らないことばかりだった」「島・民族・言語が多いのに驚いた」「ちょっと旅行をした気分になれた」「発表者が日本語を良く勉強していて素晴らしい」などの感想がありました。(鴛田 良子)



## 日本語ボランティア研修会

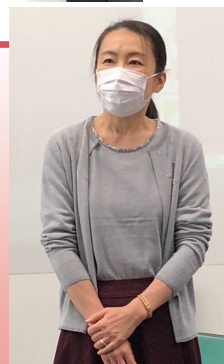
日時: 2020年11月15日 13:30~16:00

場所: 鶴見国際交流ラウンジ

参加者: 20名

日本語ボランティアのブラッシュアップを目的に研修会を開催しました。

講師に国際交流基金 日本語国際センター 専任講師 岩本雅子先生をお招きし、先生が教材開発に携わった「いろどり 生活の日本語」を教材として、日本語の新しい教え方を学びました。



外国籍の学習者が日本で働いたり、会社の仲間と交流したり、買い物をしたり、遊びに行ったり、食事をしたりなど、生活のいろいろな場面で必要となる日本語を教えていきます。「どんな場面で何ができるか」を目標に学習し、それぞれに必要なコミュニケーション能力を身につけられるような取り組みを目指していきます。

私たちは大きな変革を目指すのではなく出来るものから着手し、一歩ずつ変化にチャレンジしていきます。ボランティアの皆さんと協力して、学習者と日本語ボランティアが楽しく勉強できる教室を作り上げていきたいですね。(岡野 寿雄)

実践を交えながらの豊富な内容でした。  
岩本先生、大変お世話になりました!



金曜初級A



金曜初級B



金曜中級A

### コロナ禍ならではの記念撮影

学期終了時の恒例の記念撮影では、この時期を象徴すべく、敢えてマスクを着用した状態や、「せめて撮影の時だけは」とマスクを外したり、「素颜、初めて!」とお互いの顔を見合っていたりしました。それぞれのクラスで試行錯誤をしながらの撮影でした。



金曜中級B



金曜読解A



土曜初級A



土曜初級B



土曜中級A



土曜中級B



土曜読解B

今年度春学期はコロナ禍で中止となったが、秋学期は感染防止対策を取りながら何とか開催することができた。出入国が規制されているため、学習者数は52名と例年の50%だが、学習者0のクラスはなかった。国別では16か国、イエメンとコロンビアは初めての参加、ベトナム23%、中国21%、フィリピンとブラジルが10%であった。読解Bクラスはリピーターが多く、6名が修了証を手にした。一方、初級クラスでは、長年日本で生活しながら日本語が不自由な学習者の参加が目立った。そこで、土曜初級Aクラスは冬クラスとして補習授業を実施した。

ボランティアは27名が参加し、クラスによっては学習者より多い状態だった。マスク越しながら笑顔にあふれ、久しぶりに一緒に学習する楽しさを味わうことができた。

来学期も無事開催できるよう願わずにはいけない。

〈日本語教室運営委員長 鴫田 良子〉

### 報告

国際理解講座：10月11日(日)  
日本語ボランティア研修会  
：11月15日(日)  
秋学期報告会：11月20日(金)、21(土)  
第4回理事会：12月6日(日)  
日本語ボランティア勉強会  
：12月27日(日)

### 予定

第5回理事会：1月24日(日)  
冬学期報告会：3月19日(金)、20(土)  
第6回理事会：3月28日(日)

